長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2025 AUGUST VOL.437

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



迅速・正確な画像診断で医療の最前線を支え、最新の放射線治療でがんに挑む放射線部門の皆さんです。

先端医療特集

TOPICS
- 第35回大村地域医療協議会報告
- カザフスタンから研修医受け入れについて
- 肝炎デー啓発活動報告

看護部だより　Vol.56

ハピスマ

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

先端医療特集

X線血管撮影システム

診療放射線技師長　宮島 隆一
特殊撮影主任　森 政裕



X線血管撮影システム

2025年7月より、当施設血管撮影室に最先端の血管内治療の機能を備えたX線血管撮影システムが導入されました。血管内治療とはX線透視の画像を用いて、体の内部をリアルタイムに観察しながらカテーテルや針を使って治療を行う方法で、病変部を正確に狙い安全に治療できることから患者さんへの負担が少なく、年々適応が拡がっています。

今回導入されたX線血管撮影システムは、頭部領域では、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や脳梗塞に対する血栓回収術、腹部領域では、腫瘍を栄養する動脈を選択して抗がん剤投与や塞栓術、腹部動脈瘤に対するステントグラフト挿入術、四肢領域では、シャント閉塞に対する拡張術など全身の血管に幅広く対応しております。また、回転撮影を行うこと

でCTと同等な高精細３次元画像を作成することが可能となり、血管内治療を行う上で不可欠となる画像誘導やナビゲーション機能に活用されています。図1は、肝臓に形成された腫瘍に対する栄養血管を３次元画像からソフトウェアを用いて自動抽出してナビゲーションとして用いた画像です。図２は、脳動脈瘤に対して３次元画像を作成して画像誘導として用いた画像です。動脈瘤にコイルが入っていく様子やコイルの詰まり具合が評価できます。

画像処理技術においても飛躍的な進歩を遂げて、図３に示すようなコイルによるノイズを除去する撮影技術が備わりステントや血管などの視認性が向上致しました。また、X線被ばくに関しては、新世代低線量テクノロジーにより従来の装置に比べX線線量が50%低減することが可能となりました。

これらの機能を備えたX線血管撮影システムは、緊急対応が必要な血管内治療において短時間手技を可能にし、正確で安全そして円滑な治療をサポートしてくれるものと考えます。

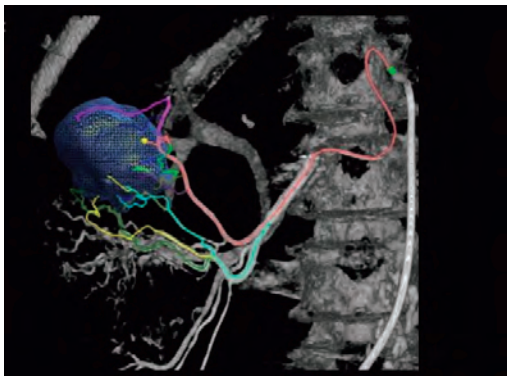


図1　腫瘍に対するナビゲーション画像

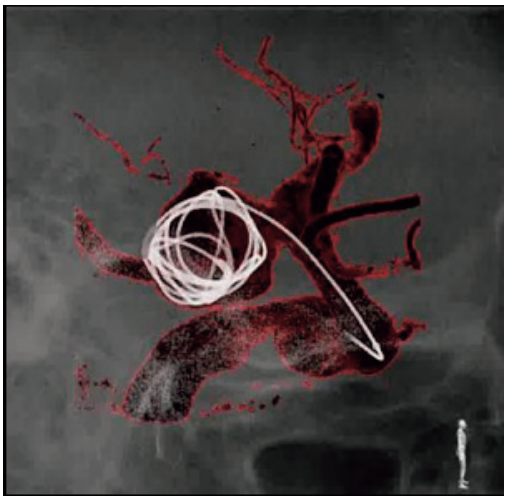


図２　脳動脈瘤に対する画像誘導画像

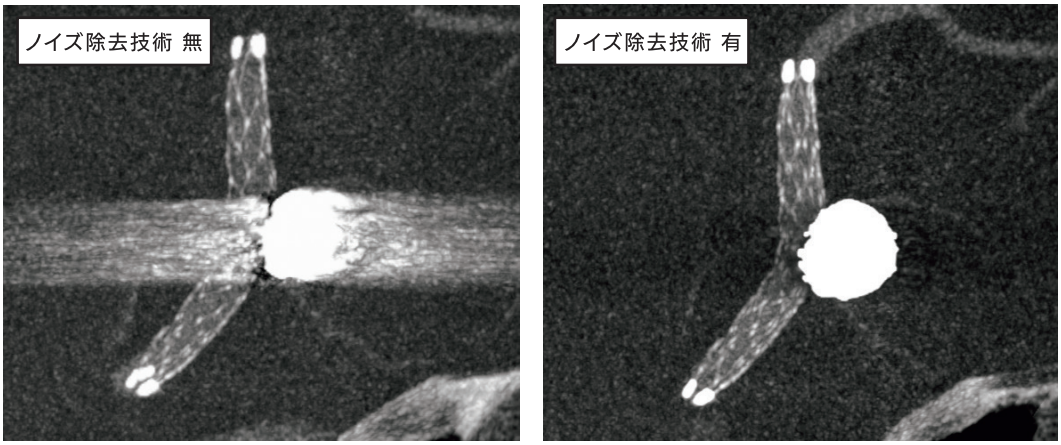


図３ノイズ除去技術による視認性の向上

TOPICS

第35回大村地域医療協議会報告

統括診療部長　本村 秀樹

6月26日に開催された第35回大村地域医療（国病、県病、市病、医師会）連絡協議会の報告です。この会には医師会から45名、市病（市立大村市民病院）10名、県病（長崎県精神医療センター）2名、長崎医療センター 74名の合計131名の医師が参加しました。本山浩道先生の司会、大村市医師会長田川正人先生のご挨拶から始まりました。市立大村市民病院院長野中和樹先生が「画像でつなぐ地域医療」についてご講演されました。病院車の内にカメラを搭載することで、医師は病院から車内の患者さんの状態をモニターで確認しながら的確な指示を出しことができます。そのため医師の同乗がなくても安全な搬送に繋げられることを話されました。病院車で施設にお迎えに行くことで、搬送施設の負担軽減となり、受入病院でも搬送するまでの時間が短縮されることで時間外入院が減り、スタッフの残業も減らすことができることも示されました。



会場では多くの先生と対面でお話することができました。円滑な連携を行う上で、とても重要な機会となりました。とても素晴らしい会でした。ありがとうございました。



TOPICS

カザフスタンから研修医受け入れについて

管理課長　白川 大

長崎県医師会とカザフスタン共和国アバイ州医師会との協定に基づき、今年も医師2名の受け入れを行いました。

これは、保健・医療・福祉分野における国際的な学術交流と相互協力を目的とした取り組みの一環です。

研修期間は令和7年7月7日から20日までの約2週間で、救命救急医と外傷外科医が来日し、多発外傷や急性冠症候群、急性脳血管障害、ドクターヘリを含む救急医療などの分野で研修を行いました。

当院では、これまでも様々な領域の海外からの研修医を受け入れており、国際的な医療人材育成に寄与してきました。今後もこうした取り組みを通じて、医療の質の向上と知見の共有に努めてまいります。



TOPICS

“知ること”から始まる肝炎対策～院内外での啓発活動～

肝疾患相談員　川下 千尋

世界保健機関（WHO）は2010 年に、世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7 月28 日を「World Hepatitis Day（世界肝炎デー）」と定め、肝炎に関する啓発活動などの実施を提唱しました。

当院ではこれまで啓発活動を行っていませんでしたが、より多くの方々に興味・関心を持ってもらえたらと思い、本年より啓発活動を計画しました。院外では7月1日から7月31日までの期間、ミライon図書館にて肝疾患コーナーを作っていただき、関連図書を司書の方が紹介してくださりました。院内では7月24日から8月4日までの期間、外来休憩スペースにて肝疾患紹介ブースを設置しました。

来年度以降も肝炎デーに合わせた啓発活動を続けていきたいと思います。不明点や要望等ありましたら、いつでも肝疾患相談員へご連絡ください！



看護部だより Vol.56

あらたな看護師のキャリア～特定看護師の道～

副看護部長　穴井 久美子



【特定看護師の状況】	当院は2020年より看護師特定行為研修機関の指定を受け研修を開始しました。これまでに修了者は18名となり、2025年4月現在、12名の特定看護師が院内で活躍しています。
【特定看護師の活動】	看護を基盤に患者家族のニーズに積極的に対応し、特定行為を含めた質の高い医療・看護を提供しています。特定行為の実践はもちろんのこと、特定行為研修の学びを活かした看護実践、臨床推論などを活用した教育・現場での支援など、今後も特定看護師の活躍が期待されています。
【今後に寄せて】	研修は8か月間、医師をはじめ多職種50数名の方々の尽力があって成り立っています。組織の中で自分の立ち位置を理解し、誠意のある行動が恩返しになります。今後は、特定看護師が各部署、各勤務帯に勤務できる体制を目指して育成に取り組んでいきます。





院内ボウリング大会 ハピスマ

HAPPY & SMILE







６月１８日にコロナで中止となって以来久しぶりに院内ボウリング大会が臨床医師評議会の運営のもとに開催されました。大村Ｊボールを貸し切り、２８レーン４名編成で合計１１２名の参加数でした。内訳は病院長を始め、医師２４名、研修医３１名、コメディカル５３名に事務部３名でした。研修医に準備をお任しましたが、素晴らしいチームワークでそつなく運営してくれ、景品の準備もスコアだけでなくサプライズを準備してくれていました。

２ゲーム合計で個人賞１位はトップスコアの真崎智博先生（研修医）で、景品は米５㎏でした。また団体戦では釘山統太先生（外科）率いる「チーム赤ヘル」がユニホームをそろえる気合のままに優勝され、皆がうらやましがる景品を獲得していました。２位には救命センターの多職種チームの「転生したらストライクだった件。」が続き、３位は臨床検査部チームの「チームラボラトリー」という結果でありました。貸し切り状態も手伝ってか全レーンから爆笑と雄たけびが響き渡る大会となり、皆が楽しい思いをされたと確信しています。幸い怪我等もありませんでしたが、次の日に筋肉痛になられたスタッフが多発していたかとおもいますが、皆疲れた素振りも見せずにきっと日々の業務にあたっていたと思っています。

非常に好評だったので、以前のように当院の年中行事にすることを計画しておりますので、今年の大会で悔いが残った皆さんは来年度の大会にご期待ください。

長崎医療センター臨床医師評議会会長　宮本 俊之（整形外科）

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和7年9月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★加藤　遼 徳満　純一	★徳満　純一 安井　順一 加藤　遼	★安井　順一 徳満　純一	★徳満　純一 ★加藤　遼 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 中村　麻衣子		★田川　孝樹 岡　哲	中村　麻衣子	★中村　麻衣子 田川　孝樹
循環器内科　午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科　午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）	★徳田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	岩永　洋 ★足利　裕哉	徳田　昌紘		岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科　午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典 （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 武田　敬子（新生児・乳児） 黒岩　かほり（新生児・乳児）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般） 食物アレルギー外来	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科　午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科　①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃	★濱辺　真奈
皮膚科　②旧患	中牟田　瑠璃	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃
皮膚科　③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃	濱辺　真奈	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★原　貴信（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） 藤井　美緒（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★後藤　純寛
整形外科・リハビリテーション科	★伊藤　勇人	★宮本　俊之（第1・3・5） （再 第2・4）	★前田　純一郎	★向井　順哉	★梅木　雅史（第2・4） （再 第1・3・5）
形成外科	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★吉野　健太郎	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★藤原　洸平 ★吉野　健太郎
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科	★大仁田　亨 鹿子木　桂	錦戸　雅春	★近藤　翼	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★川島　大輝
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀
放射線科（治療）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センターNEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.437